

別紙標準様式（第7条関係）

△ 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度第2回枚方市病院事業運営審議委員会
開 催 日 時	平成28年8月24日（水） 15時00分から 15時50分まで
開 催 場 所	市立ひらかた病院 2階 講堂
出 席 者	委員：大森委員長・岡沢副委員長・田口委員・野口委員・ 福留委員・八尾委員 病院：高井病院事業管理者・森田病院長・坂根副院長・ 木下副院長・赤塚副院長・本合副院長・石上看護局長・ 西村事務局長 他
欠 席 者	藤本委員・原委員
案 件 名	1. 市立ひらかた病院改革プラン（第2次中期経営計画）の策 定について 2. 市立ひらかた病院の運営状況について ・平成27年度の経営実績について ・駐車場の運用状況について 3. 新病院整備事業の進捗状況について
提出された資料等の 名 称	・資料1 市立ひらかた病院改革プラン（第2次中期経営計画） の策定について ・資料2 平成27年度の経営実績について ・資料3 駐車場の運用状況について ・資料4 新病院整備事業の進捗状況について
決 定 事 項 等	（確認事項） ・案件1～3について説明を受け、質疑応答により確認を行う。
会議の公開、非公開の 別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者	—
所管部署（事務局）	市立ひらかた病院 事務局 経営企画課

審 議 内 容	
○大森委員長	<p>開会に際しまして、一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ、本日の委員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>暦の上では立秋を過ぎましたが、暑さは依然として厳しいものがございます。皆様におかれましては、お体をご自愛くださいますようお願い申し上げます。</p> <p>さて、本日の委員会の案件は、</p> <p>「市立ひらかた病院改革プラン（第2次中期経営計画）の策定について」、「市立ひらかた病院の運営状況について」などを予定しております。</p> <p>委員の皆様には、委員会運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして、委員の出席状況について、事務局に報告を求めます。</p> <p>西村事務局長。</p>
○西村事務局長	<p>委員の出席状況についてご報告いたします。</p> <p>本日の委員会の、ただいまの出席委員は6名です。</p> <p>なお、藤本委員並びに原委員につきましては、所用のため欠席する旨の報告をいただいております。以上で報告を終わります。</p>
○大森委員長	<p>ただいま報告がありましたとおり、出席委員は定足数に達しておりますので、これより、平成28年度第2回枚方市病院事業運営審議委員会を開会します。</p> <p>本会議の公開・非公開の取り扱いにつきましては、第1回委員会において、公開とさせていただくことになりましたが、本日、傍聴希望者はおられますか。</p> <p>辻経営企画課長。</p>
○辻経営企画課長	<p>本日、傍聴希望者はいらっしゃいません。</p>
○大森委員長	<p>それでは、まず、病院事業管理者より挨拶をお受けしたいと思います。高井病院事業管理者。</p>
○高井病院事業管理者	<p>（高井病院事業管理者の挨拶）</p>
○大森委員長	<p>それでは、これより議事に入ります。</p> <p>案件第1「市立ひらかた病院改革プラン（第2次中期経営計画）の策定について」を議題とします。事務局に説明を求めます。</p> <p>辻経営企画課長。</p>

○辻経営企画課長

市立ひらかた病院改革プラン（第2次中期経営計画）の策定についてご説明申し上げます。[資料1](#)をご覧ください。

「1. 政策等の背景・目的」についてですが、市立ひらかた病院がまとめた中期経営計画が、平成28年度で最終年度を迎えますことと、国から新公立病院改革ガイドラインが示され、新公立病院改革プランの平成28年度中の策定が求められているという2点の現状から、今年度中に市立ひらかた病院改革プランを策定し、あわせて、この新改革プランを中期経営計画の後継計画である第2次中期経営計画と位置付けるものでございます。

「2. 新改革プラン策定の考え方」についてですが、中期経営計画で示しておりました緊急健全化対応策及び主な中期的な取り組みについて今年度中に評価し、それを反映するとともに、新ガイドラインで示された4つの視点、「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」「経営の効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」に沿った事項を盛り込むものと致します。

「3. 新改革プランの期間」についてですが、国のガイドラインでは策定から平成32年度までを標準としています。中期経営計画の後継計画として位置付けることから、本市におきましては平成29年度から平成33年度までの5ヶ年間とするものでございます。

「4. 新改革プランの骨子」についてですが、「(1)基本的事項」、「(2)経営環境」、「(3)本院の経営の現状」、「(4)本院の医療の現状」、「(5)めざす医療」、「(6)主要課題と取り組みの方向性」、「(7)具体的な取り組みと目標」などを盛り込んでいくもので、具体的な内容につきましては記載のとおりでございます。

「5. 策定方法」についてですが、市立ひらかた病院の委員会等設置要綱に基づき市長部局と市立ひらかた病院からなる「市立ひらかた病院改革プラン策定委員会」を設け、必要に応じて作業部会を設置します。また、専門的かつ多角的な視点からの助言を受けるため、アドバイザーを委嘱しようとするものでございます。

「6. 策定スケジュール」につきましては、平成28年8月に厚生委員協議会へ新改革プラン策定について説明を行い、平成29年2月に厚生委員協議会へ新改革プラン(案)について説明を行ったうえで、同年3月に新改革プランを策定する予定でございます。

「7. 総合計画等における根拠・位置付け」につきましては、記載のとおりでございます。

なお、2枚目に参考資料といたしまして、平成27年3月に総務

<p>○大森委員長</p>	<p>省から示されました「新公立病院改革ガイドライン」の概要を添付させていただいておりますので、あわせてご参照くださいますようお願い致します。</p> <p>説明は以上でございます。</p> <p>これより、ご質問・ご意見をお受けします。</p> <p>ご質問・ご意見はありませんか。</p> <p>ご質問・ご意見もないようですので、本件については説明の聴取程度にとどめます。</p> <p>それでは、次に、案件第2「市立ひらかた病院の運営状況について」「平成27年度の経営実績について」及び「駐車場の運用状況について」を議題とします。事務局に説明を求めます。</p> <p>辻経営企画課長。</p>
<p>○辻経営企画課長</p>	<p>それでは、案件「(2)市立ひらかた病院の運営状況について」のうち、「平成27年度の経営実績について」をご説明させていただきます。資料2をご覧ください。</p> <p>はじめに「1.趣旨」でございますが、平成27年度は、平成26年9月22日に開院した新病院において初めて1年間を通して診療を行った年度となりました。そこで、患者数や病床利用率、医業収益等につきまして、旧病院で1年間診療を行った平成25年度、新旧両病院ではほぼ半年ずつ診療を行った平成26年度と比較しながら、平成27年度の実績についてご報告するものでございます。</p> <p>まず、「2.入院関係」ですが、(1)といたしまして、「延入院患者数と1日平均患者数」をグラフにまとめました。棒グラフが「延入院患者数」で、折れ線グラフが1日平均患者数でございます。</p> <p>一般病床の稼働ベッド数を平成25年度は271床、平成26年度の新病院開院後は289床、平成27年6月からは309床、平成27年10月からは327床と増加させたことや放射線治療等新しい治療を開始したこと、病院が新しく綺麗になり療養環境が大きく改善したことなどから、右肩上がりの増加となっております。</p> <p>次に、「(2)一般病床利用率」についてですが、入院患者数は増加したものの、分母となる稼働病床数を段階的に増加させたことなどから、病床利用率につきましては微増にとどまりました。</p> <p>続きまして、「(3)入院収益と診療単価」のグラフですが、診療単価につきましては、手術や内視鏡件数の増加や放射線治療の開始などにより引き上げることができました。合わせて患</p>

者数も増加したことから入院収益も大きく増加しました。

資料裏面をご覧ください。

「3. 外来関係」ですが、(1)といたしまして、「延外来患者数と1日平均患者数」をグラフにまとめました。

1週間の外来診療ブースを180から197ブースに増やしたことや放射線治療等新しい治療を開始したこと、CTやMRI装置を2台ずつ整備し、検査体制を充実させたことなどから、入院同様、右肩上がりの増加となっております。

次に、「(2) 外来収益と診療単価」のグラフですが、診療単価につきましては、外来化学療法件数の増加やC型肝炎や肺がんの有効な新しい薬の採用などにより引き上げることができました。合わせて患者数も増加したことから外来収益も大きく増加しました。

次に、「4. 医業収益」についてですが、決算の速報値として医業収益をグラフにまとめました。入院収益、外来収益、その他医業収益の各項目について、平成26年度、平成27年度ともに対前年度で10%以上増加しました。

次に、「5. 医業費用」についてですが、まず、給与費では、すべての許可病床を稼働させるために看護師等の確保を進めたことから増加しました。材料費も増加しましたが、これは主に患者数の増加によるものです。次に経費についてですが、平成27年度は前年度比較で約1億7500万円減少しました。これは平成26年度に発生した新病院開院準備に伴う消耗備品費の支出がなくなったことや、施設管理委託や物品管理委託において新旧両病院の併行期間(約4か月)がなくなり委託料が減少したことなどによるものです。また、減価償却費につきましては、新病院の建物及び附属設備や新病院開院に当たり整備いたしました医療機器等の減価償却が始まったことにより増加したものです。説明は以上でございます。

○大森委員長

それでは続きまして、塚原事務局次長。

○塚原事務局次長

それでは、駐車場の運用状況についてご説明させていただきます。資料3をご覧ください。

新病院の駐車場は、8月1日午前0時に運用を開始しまして、3週間余りが経過いたしました。このうち、8月14日までの2週間分の駐車場の運用状況についてご報告するものでございます。「2. 駐車台数の状況」でございますが、タイムズ24(株)より数値の報告を受けたものでございまして、(1)が「平日の自動車駐車台数」で平日9日分の平均でございます。棒グラフの横軸が時間で0時から23時までとなっており、縦軸が駐車台

	<p>数を表しておりますが、朝の8時台にピークが始まり、出庫のピークが11時台でございます。駐車台数のピークは9時から10時の時間帯で平均116.5台でございます。この平日9日間の最大入庫台数は138台ございました。収容台数が179台でございますので、あと41台の駐車が可能であった状況でございます。</p> <p>(2)は「土日・祝日の自動車駐車台数」の状況でございます。土曜日と日曜日が2回ずつあり、11日が「山の日」ございましたので、土日・祝日5日分の平均の数値です。入庫のピークは10時台、出庫の時間帯はバラつきがございましたが 駐車台数のピークとしまして13時台で平均38台、最大で55台の駐車がございました。</p> <p>(3)の「原付バイク」でございますが、駐車台数が平日が最大13台、土日・祝日が最大3台という状況ございました。</p> <p>「3. 検討中の課題」でございますが、現在、受診者等は入庫から30分間が無料、5時間30分間までは200円、それ以降は30分毎に100円ずつ加算される料金設定としてスタートしておりますが、受診者等の利便向上のため、当日最大料金を600円とする設定をタイムズ24(株)と協議しているところでございます。明日、精算機の設定をする予定であると報告を受けております。テストを行って不具合が無ければ、その設定で実施したいとのことであり、現在は一般料金は土日・祝日が24時間最大600円という設定をしております、それに合わせる形で受診者等について平日は月曜日から金曜日までこの最大600円の設定とするものでございます。この設定が完了次第、周知を図っていきたいと考えております。説明は以上でございます。</p> <p>それでは只今説明がありました件について、これより、ご質問・ご意見をお受けします。ご質問・ご意見はありませんか。 野口委員。</p> <p>平成27年度の経営実績についてですが、右肩上がりということで報告がありましたが、入院患者、外来患者それぞれについて当初から計画或いは目標値が設定されていたのでしょうか？</p> <p>辻経営企画課長。</p> <p>平成27年6月に改定をいたしました中期経営計画におきまして、収支計画を定めてありますが、それとの比較で申し上げますと、入院収益につきましては約2億3000万円下回る状況でございます。これは病床利用率が見込んでいた80%に至らなかったことによるものでございます。しかしながら外来収益につき</p>
○大森委員長	
○野口委員	
○大森委員長	
○辻経営企画課長	

	<p>ましては見込んでいた患者数を1日当たり約30人上回ったことや診療単価が見込んでいたよりも高かったこと等から、約1億4400万円計画を上回ることができました。その他、差額ベッド代など繰入金を除いた「その他医業収益」も約4300万円程度、計画を上回ることができました。</p>
○大森委員長	野口委員。
○野口委員	<p>このようなものを出す際には、目標も示していただいた方が実績がどうなのか、入院は少なかったが外来は多かったということによく分かりますので、今後はそのようにしていただければと思います。病院経営で一番重要なのは患者さんの評判であり、以前の市民病院のことを考えてみると大変そのことを思う訳です。その点からすると最近、少々耳が痛いお話を聞いておりました、一例ですが、クリニックを受診すると肺炎の症状であるということで紹介状を書いていただいたが、星ヶ丘医療センターがいっぱいであったため、市立ひらかた病院に来院し、家族は入院が必要となるだろうと考えその用意もしてきたものの、投薬で大丈夫であるとの診断で帰宅となりましたが、その後4日間寝込んでしまい、しんどいために再度クリニックを受診したところ、クリニックにしてみれば一度紹介状を書いているため他に何もできないと言われたという事例でした。患者側にとっては納得できるような説明が必要であり、患者様は大変しんどかったにもかかわらず、なぜ入院させてくれなかったのかということがありました。これは数か月前のお話ですけれども、他にも類似したこともありますので、患者様が納得するような対応が必要であると思いますが、いかがでしょうか？</p>
○大森委員長	森田病院長。
○森田病院長	<p>只今のお話だけでは、どのような状況であったのかよく分かりませんが、詳しく調べてみたいと思います。</p>
○大森委員長	野口委員。
○野口委員	<p>では、よろしく申し上げます。</p> <p>一方、駐車場の運用状況についてですが、市民の方からも非常に分かりにくいという声を聞きますが、例えばこの期間中に、これはどうかなと思いましたが、市立ひらかた病院に緊急入院となった後に亡くなられた方の件ですが、ある時点において医師からご家族を呼んで下さいと言われ、ご家族が来院された</p>

	<p>場合に駐車場に車を置きますと、全て一般利用扱いになるのでしょうか？</p>
○大森委員長	<p>塚原事務局次長。</p>
○塚原事務局次長	<p>ご家族のお見舞いと同じ扱いになりまして、一般利用料金をいただくこととなりますが、その他の場合として、インフォームドコンセントで主治医から病状の説明があるということで来院された場合は受診者等としての扱いをするというルール付けをしております。お亡くなりになられた際の退院当日にお迎えの車を駐車された場合は、退院当日の送迎車ということで無料の扱いができるということになります。</p>
○大森委員長	<p>野口委員。</p>
○野口委員	<p>ご親族の方が3台や5台で来院された場合は、1台は退院扱いということになりますが、その他は一般利用扱いになるということですのでよろしいですね。</p>
○大森委員長	<p>塚原事務局次長。</p>
○塚原事務局次長	<p>その通りでございます。</p>
○野口委員	<p>医師からご家族を呼ぶように言われた際に、変な話ではありませんが患者さんが頑張れば頑張るほど、駐車料金が大変な金額になる訳ですね。その方は、実際に5台や6台で来院されたため、駐車料金がかなり高額になった訳です。一方、他の病院であれば、医師が声を掛けた場合には無料扱いになるとのことなので、そのあたりの取扱いを検討する必要があるのではないかと思います。それを含めて、この間、有料になったことで窓口などでいろいろとあったのではないかと考えますが、そのあたりはどうでしょうか？ 実際に、ご質問や苦情等があったのでしょうか？</p>
○大森委員長	<p>塚原事務局次長。</p>
○塚原事務局次長	<p>患者様からのアンケートで自由に記入いただくものがありまして、この3週間の間に36件のアンケートをご記入いただいたうち、半分の18件で駐車場に関するご意見をいただいております。そのほとんどが、30分無料の設定では何もできないというご意見や、駐車料金が低いというご意見をいただいております。</p>

○大森委員長	この延べ2週間余りの間に駐車いただいた台数は延べ 4800 台余りあり、そのうちの 18 件中の 1 件だけではあります。駐車し易くなり有り難い、というご意見をいただいております。
○野口委員	野口委員。 やはり、他の病院との比較等も含め、医師が呼んだ場合は関西医科大学附属病院もそうですが、他に例えば公済病院などでは透析などで5時間半から6時間駐車しても無料であることがありますし、やはり市民の方は料金が高いという感覚を持っていると思いますので、今後は是非とも改善・検討をしていただきたいと思います。以上です。
○大森委員長	他にご質問やご意見はありますか。 福留委員。
○福留委員	平成 27 年度の経営実績に関してですが、入院収益で 2 億 3000 万円のマイナス、外来収益で 1 億 4400 万円のプラス、その他医業収益で 4300 万円のプラスということで、この差についてですが、入院は病床利用率が 80%に満たず、これがマイナス要因になった訳で、これは計画とは若干違うとは思いますが、平成 28 年度以降もこのあたりが関わってくるのではないかと考えます。今後の入院及び外来についての対応の考え方がありましたら、お聞かせください。 次に駐車場の関係で、まず平日の自動車の駐車台数ですが、駐車場の最大収容台数の 179 台に対してピークが 119 台で、例えばこのグラフの中で9時台が 119 台で10時台が 114 台となっており、1時間単位で見ると網羅できていますが、累積で駐車されている方もおられるのではないかと考えます。その点から、実際には 179 台を超えたことがあったのかどうかという点と、当初の見込みとの違いについて、平日の場合と土日・祝日の場合についてお聞かせください。それからもう1点は、原付バイクの駐車台数は平日が最大 13 台で、土日・祝日が最大 3 台となっていますが、以前お聞きした際に、有料化する大きな要因として、自動車及びバイクとも枚方市駅に行かれる方がここに置いて行くとのことでしたが、その際にある程度実績を掴まれているのではないかと思いますので、それに対して今回有料化した場合の駐車台数は見込みに対してどれほどの違いがあったのかをお聞かせください。
○大森委員長	西村事務局長。

○西村事務局長

まず、入院と外来の平成 28 年度以降の考え方についてですが、委員のご指摘のとおり、入院患者を伸ばしていくことは本院の大きな課題であると考えております。そのために具体的に何をしていくのかということですが、現在本院で取り組んでおりますのが、まず救急患者さんを如何に断りなく受け入れていくのか、先程に野口委員からもお話がございましたが、入院希望であるのに入院にならずに帰宅される、これはその方の病態によって医師の判断によりそのようなになっているのですが、そのようなご希望があるほか、なかなか家の介護力が足りないというケースも最近が増えてきておりますので、そのような事情も勘案して、病院としては可能な限り救急からの受入れを行い、そういったケースからの入院を伸ばしていきたいと考えております。このように、一つには救急があります。一方、外来につきましても、ご説明ありましたように、患者数は伸びてきておりますので、当然外来から緊急で入院されるというケースも増えてきております。それに加えて、地域医療連携システムというものを平成 28 年 3 月から運用を開始しておりますが、これは本院で入院・治療していただいた場合は、地域のかかりつけの医師がその患者様に係る各種の検査結果や画像をウェブ上で見れるというものを導入しておりますが、まだ緒についたばかりということで、会員数自体がまだ 20 医院程度であったと思いますが、これを増やして行って入院患者様の獲得に繋げていきたいと考えております。言い換えれば、外来からの緊急入院のほか、地域連携を強化して、地域連携からの入院・治療に力を入れていきたいと考えております。また、外来につきましても、病院が新しくなったことから大きく患者数が増加してきており、診療ブースも増えておりますが、医師 1 人当たりの患者数が多くなることで、外来診療の時間がどんどん長くなり待ち時間が増えていくというデメリットの部分もございますので、できれば紹介を増やしていき、初診で来られる方より予約診療の方を増やすことで待ち時間をある程度コントロールできるという形態により、外来患者様の獲得を目指していきたいと思っております。その結果、入院、外来ともに数字が上向きになり、収益面でもプラスになりますし、公立病院として市民ニーズにも応えていけるのではないかと思います。

○大森委員長

続きまして、塚原事務局次長。

○塚原事務局次長

駐車場に關しましてのご質問についてお答えします。
平均の滞在時間につきましては検証ができておりませんが、

	<p>179 台を超えるということはありませんでした。それから、想定どおりであったかという点についてですが、8月以前の駐車状況につきましては、今年の3月までは保健センターの駐車場、臨時駐車場及び仮設駐車場を合わせ 188 台の収容が可能であり、今年の4月以降は 200 台が収容可能な状況でありまして、この8月からは保健センターと合わせて 250 台収容が可能という状況でございます。現在は保健センターにおける8月に入ってから収容台数についての状況を把握できていないため、想定通りの状況であったのかの検証をこれからさせていただくところでございます。原付バイクにつきましては、タイムズ24(株)にてコンピューターで集計をしております数字としては平日最大13台との報告を受けておりますが、実際には不正の入庫がございまして、つまり、正しくはチェーンをタイヤや前籠に通して差し込むと赤いランプが点灯するのですが、これを通さずにチェーンだけを前籠に引っ掛けているケースがかなり多いとのこと。このため、駐車料金を払わずにチェーンを外して出庫してしまうことが発生しており、タイムズ24(株)においても非常に困っている状況です。このため、正確な原付バイクの駐車台数の把握ができていないという状況でございます。ただし、有料化したことに伴いまして、目的外のバイクの駐車というのは減っているのではないかと考えております。</p>
○大森委員長	福留委員。
○福留委員	保健センターの原付バイクは無料だと思いますが、そちらの駐車台数については把握されていないでしょうか？
○塚原事務局次長	保健センターの方につきましても把握はしておりません。
○大森委員長	福留委員。
○福留委員	先日のことになりますが、8月に肝臓に関する講演がありましたが、非常に参考になるものでした。また、次に開催するということをお聞きしていますが、これまでも定期的に開催されてきたのでしょうか？
○大森委員長	西村事務局長。
○西村事務局長	市民公開講座という形で、病院が新しくなってからスタートしております。今回は肝臓がんというお話でしたが、以前には乳がんのお話をしたり、次は前立腺のお話を予定したりというこ

	とで、定期的に3～4か月毎に1回を開催していくということで計画をしております。
○大森委員長	福留委員。
○福留委員	講演内容は非常に良いものであったと思います。参加者の内訳は、外部からの方なのか、入院されている方なのかはいかがだったのでしょうか？
○大森委員長	西村事務局長。
○西村事務局長	広報やホームページ等でPRをしておりますので、大半は外部からわざわざ暑い中をお越しいただいているという状況です。
○大森委員長	福留委員。
○福留委員	また今後も是非、このような講座を行うことで、その積み重ねにより、病院の利用が増えてくるのではないかと思います。但し、来られる方は駐車場料金が必要なのですね。
○大森委員長	塚原事務局次長。
○塚原事務局次長	本院主催事業に、ご参加いただく方は無料になります。
○大森委員長	福留委員。
○福留委員	それから、駐車場における土曜・日曜日の関係について、最大収容台数の179台と比べると利用率が非常に低い状況ですが、これは稼働にばらつきがあるからと言って病院側の収益には特に関係ないとは思いますが、非常に勿体ないということで、何か知恵や考えておられることはございますか？
○大森委員長	塚原事務局次長。
○塚原事務局次長	現時点では特に考えてはおりませんが、タイムズ24(株)より速報値として、先週土曜・日曜日の台数の報告を受けましたが、土曜日のピークが74台、日曜日が82台でした。これは、枚方まつりが開催されていた時期に重なりますので、京阪枚方市駅周辺は駐車できないということでご利用された方がおられたのではないかと考えておりますが、今後は周辺の幼稚園等の行事の際の父母の利用や、この周辺にお住まいの方のご家族の方が

<p>○大森委員長</p>	<p>土曜・日曜日に訪ねて来られる場合等にご利用いただけるのではないかと考えております。</p>
<p>○八尾委員</p>	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 八尾委員。</p> <p>駐車場の件ですが、アンケート調査が行われているとのことでしたが、私も昨日に市立ひらかた病院で診察を受け、駐車場を利用させていただきましたが、アンケートの案内やアンケートの設置場所等の説明は一切ありませんでした。先程のご説明では、4800台余りの駐車があったうちでアンケートの回答があったのは18件程度であったということでしたが、窓口や受付でアンケートにご協力いただけないかという案内があれば、もちろん私も記入を行っておりましたので、そのあたりの改善をお願いしたいと思います。</p>
<p>○大森委員長</p>	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 特にないようですので、本件に対するご質問・ご意見はこの程度にとどめます。 それでは、次に、案件第3「新病院整備事業の進捗状況について」を議題とします。事務局に説明を求めます。 辻経営企画課長。</p>
<p>○辻経営企画課長</p>	<p>それでは、案件「(3)新病院整備事業の進捗状況について」ご説明させていただきます。資料4をご覧ください。 はじめに「1.趣旨」についてでございますが、新病院整備事業につきましては、平成27年10月に旧病院解体工事を完了し、その後、その跡地において駐車場等整備工事を進め、この8月1日からは有料駐車場として供用を開始したところでございますが、この度、変更契約を行いましたので、その内容等につきまして、ご報告するものでございます。 ここで、お詫びと訂正ですが、事前に配付させていただきました資料におきまして、旧病院解体工事完了の時期を誤って「平成27年11月30日」としておりました。本日の資料で「平成27年10月」に訂正させていただいておりますので、お詫びして訂正させていただきます。 「2.変更契約の内容」をご覧ください。 まず、(1)の駐車場等整備工事、これは土木工事になりますが、主に舗装部分の地盤改良により約800万円の増額変更を行いました。 変更理由ですが、駐車場整備区域は地下方式の雨水貯留施設の</p>

	<p>とも含めて土木工事を含めた建築工事の設計はされているのではないかと思います。工事をしていく中でこのようなことが判明し、変更契約するというのは余り聞いたことがありませんが、これはよくあることなのか、また何故このようなことが起きたのかお聞かせください。</p>
○大森委員長	<p>鷺施設整備室課長。</p>
○鷺施設整備室課長	<p>今回の場合、解体工事等もございましたので、地下構造物も含め、購入した土を用いて造成したのですが、雨水貯留施設や雨水管と電線管の埋設のために、掘削と埋戻しを重ねるということで、なかなか完成後の地耐力が判明しにくかったため、再度土質調査を行った結果、このような範囲で地耐力不足が判明したものでございます。</p>
○大森委員長	<p>野口委員。</p>
○野口委員	<p>最初からそのような可能性があるのであれば、最初から必要な工事について予算を含めて予定しておくものではないのかと思いますが、これは上手くいけば不要であるが、実はそうではなかったということなのでしょうか？</p>
○大森委員長	<p>鷺施設整備室課長。</p>
○鷺施設整備室課長	<p>当初、この全ての区域につきまして地耐力という面で設計の中に入れるという方法もありましたが、やはりそうすると過大な設計ということにもなりかねませんので、支持力を調査した後に地盤改良を行うということで設計を行いました。</p>
○大森委員長	<p>野口委員。</p>
○野口委員	<p>これをしなければ、駐車場の地盤沈下が発生したり、駐輪場等の構造物が倒れてしまう等の危険性があるのでしょうか？</p>
○大森委員長	<p>鷺施設整備室課長。</p>
○鷺施設整備室課長	<p>その通りです。</p>
○大森委員長	<p>他にご質問・ご意見はありますか。 福留委員。</p>

<p>○福留委員</p>	<p>只今のご説明に関してですが、見積もりを取る際のリスク管理があると思います。今回の件では設計ミスなのか、それとも本当に止むを得ず、どうしてもこのような形がでてくるのかという部分で、個人の家を建てる場合を考えてみますと、例えば私が3000万円で建築する場合、それをこのような形で3500万円になるといった際に、恐らくそれでは納得できないという感覚になると思います。これが本当にどこの責任なのかというのが一番大きいと思います。設計上でこれは止むを得ないものとして、当初から契約上において何かあれば積み重ね、積み上がっていくということであれば、今後において非常に考えさせられることであり、今回の病院に限らず、公共事業全てにおいてこのようなプラスアルファの部分が異常に増えてきているのではないかと思います。本件の契約内容はどのようなものであったのでしょうか？</p>
<p>○大森委員長</p>	<p>鷺施設整備室課長。</p>
<p>○鷺施設整備室課長</p>	<p>通常は地盤面が存在し、その面で工事を行うということであれば、元の地盤面の地耐力を測定し、地耐力が足りないということであれば、それを含めて設計を行います。今回の場合は、元々既設の建物や地下構造物等があり、一度、構造物を撤去するために掘削行為を行い、その穴の開いたところを新たな購入土で埋めてその部分の地盤を一定程度固めました。工事を分割して発注したことから、その後に土木工事として道路の整備や雨水貯留施設の設置のため、再度その部分を掘削する行為ができたために、なかなか最初に地耐力を測定しにくかったという点があります。結果的に地盤を一定程度固めた上で測定をして地耐力不足となりましたが、不足でなければ地盤改良という行為は必要なかったと考えております。</p>
<p>○大森委員長</p>	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 特にないようですので、本件に対するご質問・ご意見はこの程度にとどめます。 本日、予定されていた案件は以上ですが、その他、何かございませんか。</p> <p><「なし」の声></p>
<p>○大森委員長</p>	<p>以上で、本日の案件はすべて終了しました。 これで本日の議事を終了します。 閉会にあたり、森田病院長から挨拶をお受けします。</p>

○森田病院長

(森田病院長の挨拶)

○大森委員長

以上で、本日の会議を閉会します。お疲れ様でした。

(以上)